

本町の復興へ向けて



甲佐町長 奥名克美

熊本地震から2年にあたり、改めて被災された町民の皆様へ衷心よりお見舞いを申し上げます。

未曾有の巨大震災から2年が経ち、県内で先駆けて策定した「震災復興計画」に基づき復旧復興にまい進している本町ですが、まだまだ残る被災の傷あとに胸が痛みます。消防団員やボランティアなどの皆様のご尽力ご支援に励んでいただいた姿を今でも思い返し、皆様から示された本町へのご厚情に深く感謝いたします。

現在、早期復旧と将来を見据えた復興としての「創生」を講じており、災害公営住宅の建設や道路などの復旧に鋭意取り組んでおります。そして、震災復興の歩みの中で、「甲佐町に住んで良かった」と誇りと愛着を抱ける安心安全な町を目指して参ります。

今後も職員の力を結集し、議会の皆様のご理解をいただきながら、信念と情熱を本町の「創生」に注いで参ります。町民の皆様にはまだまだ厳しい中ではありますが、未来を拓くために、お互いに希望を抱いて歩んでいきましょう。

最後に町民の皆様のご健康を願い、ご支援いただいている関係機関の皆様へ改めての感謝を申し上げ、お見舞いのごあいさつといたします。

災害復旧状況一覧

内容	被災状況	復旧状況
公共土木施設災害復旧工事の発注状況	<ul style="list-style-type: none"> ■災害査定件数 241件 【内訳】 ●町道 85路線 192カ所 ●河川 23河川 48カ所 ●橋梁 1橋梁 1カ所 	<ul style="list-style-type: none"> ●町道 63路線162カ所 発注率82.2%、竣工率42.1% ●河川 21河川47カ所 発注率97.9%、竣工率35.4% ●橋梁 1橋梁1カ所 発注率100%、竣工率0% <small>※平成30年3月8日現在 ※発注率、竣工率は査定箇所数に対する数</small>
農業施設、農地の被災状況および復旧状況	<ul style="list-style-type: none"> ■災害査定件数) 農地99件、農業用施設63件 【内訳】 田77件、畑22件、ため池3件、水路29件、揚水機1件、農道29件、橋梁1件 	<ul style="list-style-type: none"> ■災害査定件数 農地99件、農業用施設63件 ■工事発注状況 発注率100% ■竣工状況 竣工率20.4% <small>※平成30年3月8日現在 ※発注率、竣工率は査定箇所数に対する数値</small>
林道災害	<ul style="list-style-type: none"> 8路線46箇所 ※災害査定の結果 	<ul style="list-style-type: none"> ■発注状況 4路線34カ所 発注率73.9%、竣工率21.7% <small>※平成30年3月8日現在 ※発注率、竣工率は査定箇所数に対する数値</small>

を行う予定となっています。

農業・林業関係については、町の基幹産業である林業の停滞につながらないよう、今後も早期の復旧に努め、農業経営の早期回復に努めます。

住宅関係については、甲佐地区、乙女地区、白旗地区に合計52戸の「災害公営住宅」の建設を進めています。3地区の災害公営住宅は、平成31年春の入居開始を予定しています。また、甲佐地区には、震災からの創造的復興や本町の活性化のシンボルとして、災害公営住宅のほか、子育て支援住宅および防災公園の一体的な整備を実施する予定となっています。

また、町では防災の取り組みを進めており、3月に防災用のWi-Fi（公衆無線LAN）のアクセスポイントを町施設5カ所に設置して利用開始したほか、防災マップの整備を進めています。



▲甲佐地区の災害公営住宅建設予定地。平成31年春に入居開始の予定

■公共土木施設の復旧事業へ国災害査定241件、工事発注210件

町が管理する道路や河川などの公共土木施設で、国の災害査定を受けた総件数は241件となっています。

通行量の多い路線や通学路などから随時工事発注を行いました。入札の不調・不落もなく、3月8日時点で210件の工事を発注しており、発注率は85・0%、竣工率は42・1%となっています。

■農業関係被害へ総件数208件、農業関係は100%発注

熊本地震および集中豪雨災害による国の災害査定を受けた農地や農道、林道など、農業での総件数は、208件となっています。

うち農業関係が162件で、入札の不調・不落もなく、昨年末で発注率が

100%となっています。また、平成30年3月8日時点での竣工率は20・4%となっています。

林道災害については46件で、平成30年3月8日時点での進捗率は、発注率73・9%、竣工率は19・6%です。

■震災からの創造的復興を目指す町の今後の取り組みについて

本町の早期復興を目指し、「町震災復興計画」において平成30年度は復旧の最終年度であり、復興の中間期であることから、今後も引き続き迅速な復旧・復興に取り組めます。

公共土木施設については、3月現在31件が発注となっていますが、工事の進捗状況を見て随時発注を行い、平成31年3月末に工事完了を目標に取り組みます。また、現在も通行のできない田口橋、府領橋についても、県の管理の下、平成31年3月末を目標に工事

本町の創造的復興を目指して～熊本地震から2年～

未曾有の災害からの復旧・復興への歩み

町内全域が大きな被害を受けた熊本地震から2年が経過します。町では、熊本地震および集中豪雨で被害を受けた道路や河川、農地などの早期復旧に向けて取り組んでまいりました。

今月号では、被災からの流れを振り返るとともに、これまでの復旧状況や「震災からの創造的復興」を目指す町の復興に向けた取り組みについてご紹介いたします。

被災からの流れ

- 平成28年4月14日(木) 午後9時26分前震発生
- 被災直後に災害対策本部設立
- 指定避難所10カ所を開設
- 同15日(金) 中甲橋グリーンパークで災害ごみの受入れ開始
- 同16日(土)
 - ・午前1時25分本震発生
 - ・午後4時50分町内全域に避難勧告を発令
 - ・災害ごみの仮置場を町内4カ所に開設(計5カ所)
- 同18日(月) 広島県公衆衛生チーム第1班到着、指定避難所および自主避難所の巡回を開始
- 同21日(火) 町生涯学習センターに総合案内窓口を設置
- 同25日(月) 乙女・白旗地区の全戸訪問開始(健康調査など)
- 同27日(水) 水道全面復旧
- 5月1日(日) 支援制度受付用仮設プレハブを庁舎南側に設置
- 同15日(日) 白旗仮設団地90戸への入居者募集を開始
- 同16日(月) 罹災(りさい)証明書の発行および各種支援制度

▼お問い合わせ先
町くらし安全推進室
☎096・234・1167
(内線241)

- 6月5日(日) 白旗仮設団地90戸への入居開始
- 同14日(火) 熊本地震によるすべての避難所を閉鎖
- 同20日(月) 21日(火) 九州豪雨災害発生、指定避難所5カ所を開設
- 7月6日(水) 九州豪雨によるすべての避難所を閉鎖
- 同27日(水) 県内で最初に公費解体を開始
- 8月23日(火) 第1回甲佐町震災復興計画策定委員会を開催
- 9月16日(金)
 - ・町災害対策本部を復興対策本部へ移行
 - ・仮設住宅6団地全228戸建設完了
- 11月29日(火) 町震災復興計画を策定
- 平成29年3月21日(火) 乙女小学校での授業再開
- 7月3日(月) 甲佐町住まいの復興拠点施設整備に係る公募型プロポーザル2次(公開)審査
- 12月15日(金) 災害公営住宅入居者申し込み開始